

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和7年10月27日（月）
午後1時30分から午後2時46分まで
- 3 場所 正・副議長応接室
- 4 出席委員 （委員長）鬼頭博和 （副委員長）塚崎海緒
（委員）梅村均、日比野走、伊藤隆信、関戸郁文、榊谷規子
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

（1）行政調査の振り返りについて

鬼頭委員長：資料に基づき説明

報告書を見ていただき、つけ加えたいことがあれば申し出てほしい。

（2）政策提言に向けた取組について

鬼頭委員長：今後、代表質問をどのように行うか。政策提言は難しいと思うので代表質問を行おうと思うがいかがか。

梅村委員：最初の課題設定はどのようにするのか。

榊谷委員：境町の定住促進事業が興味深かった。しかし、岩倉市の場合は支援しなくても家が建つとすぐ売れるとのことであった。

関戸委員：民業圧迫してはいけない。

塚崎副委員長：家が売れても人口が減っているということは定着していないということか。

鬼頭委員長：そのとおり。

塚崎副委員長：今日の商工会女性部との意見交換会でも農業の話が出た。

鬼頭委員長：今日の意見交換会の内容もまたまとめるが、今後、総務・産業建設常任委員会で行っていったほうがよいことが何かあれば。

塚崎副委員長：難しい内容が多かった。岩倉市は空き家のマッチングもできていない。

関戸委員：所有者が貸そうと思っていない。

塚崎副委員長：公共施設の駐車場を有料にすべきという意見はどうか。

鬼頭委員長：以前、市役所の駐車場を有料化する話があったが、議会が反対してなくなった。市役所の駐車場に駐車することで民業を圧迫しているという

意見もある。

梅村委員：本当に圧迫しているかわからない。

関戸委員：調査はしていない。行政側は有料化を考えているのか。少し話したときは安全面のことを言っていた。

塚崎副委員長：有料化しても大きな収益にならないのでは。システムを導入しても、膨大な金額を取ることはできない。

梅村委員：行政は儲けを考えなくてもよいので、やるならば日曜日だけ同じ値段で有料化し、民間を圧迫しないだけの取組をすればよいということだと思う。

塚崎副委員長：実際に土日に市役所へ駐車して出かける人は多いのか。例えば一宮市民が駐車して名古屋へ出かけたりしているのか。

梅村委員：土日は市役所の駐車場を開放しているので、いるのでは。平日も本来はいけないが中には駐車している人がいると思う。その対策のために有料化しようという話だった。

関戸委員：雨の日に駐車場に並んでいることが以前は多かった。

榊谷委員：確定申告の時期に駐車場が混雑していたが、確定申告が予約制になったため駐車場に並ぶことはなくなった。

関戸委員：今やるとしたら安全管理のためだと思う。

梅村委員：民業圧迫という話は出ていないということか。

関戸委員：出ていない。車上荒らし等があるといけないということを言っていた。

梅村委員：有料にすると管理責任がさらに重くなると思うが。

関戸委員：きちんと管理したいのでは。

（ 休憩 ）

塚崎副委員長：個人商店に駐車場がなく、なかなかお客さんが入らない問題と、公共施設の駐車場も含め岩倉市に活用できる土地があるならばそこで収益を上げてほしいという2つにしてはどうか。

榊谷委員：まず今日は、行政視察から政策提言や代表質問をできるのかということ。今日の商工会女性部との意見交換会の内容も一緒に議論してよいのか。まずは行政視察の1市2町で政策提言ができるのかということだが、それは難しいのではないか。

鬼頭委員長：難しいということであれば個人の一般質問に活用していただく。

塚崎副委員長：代表質問は難しいか。

榊谷委員：副委員長はどこを代表質問するか。

塚崎副委員長：3自治体とも共通項があるので、うまく組み立てれば代表質問できるのではないかと思います。市民参加の部分や、SNSの活用、参加型イベントなど、取り入れられるところはあったのでは。

梅村委員：個々に分解していけば取り入れられるところはあるかもしれない。岩倉市のどういう事業に対して入れられるのか。大きな政策に対して入れるのか。そういうところが見えてくると判断しやすいが、そのあたりがまだぼんやりしている。

塚崎副委員長：できそうな気はする。個々の一般質問で活用すると細かくなってしまう気がする。

日比野委員：一般質問であれば細かくなってもよいと思うが。

梅村委員：委員会代表質問は内容について全員が一致できるかどうかというところ。細かくなっても代表質問はできる。逆に、細かくないとできないかもしれない。そっくりそのまま新しい事業を提案することは難しい。例えば、何かシビックプライドにつながる個別の事業で参考になるところがあり、それが委員で一致すればそういうものをみんなで訴えていけばよい。

いわくらしやすいステッカーの作成はどうか。

塚崎副委員長：小学生から新しいキャラクターが必要ではという声がある。

梅村委員：岩倉の魅力を載せるホームページはやっていたか。

関戸委員：109の理由をやっていた。

梅村委員：終わった後は。

榊谷委員：終わった後はやっていない。

梅村委員：フェイスブックなどで市民自らが岩倉市の魅力を宣伝する場所をつくれないうか。

塚崎副委員長：その仕組みは提案したほうがいいのかも。

梅村委員：岩倉市公式で何かできないか。そして、そういうことをやってくれる人にステッカーを配付しては。

関戸委員：登録者数の多いSNSが必要。岩倉市単独ではなく広域でもよい。

塚崎副委員長：岩倉市の飲食店を紹介しているインフルエンサー等とコラボするとよいのでは。

日比野委員：副委員長は代表質問を行いたいという認識でよいか。

塚崎副委員長：やれたらいいと思っている。

鬼頭委員長：シビックプライドを中心にして、各取組の良いところをあげていくような代表質問になるかと思う。具体案がまだないので出さないといけないうい。

榊谷委員：たたき台で出してもらいたい。

日比野委員：今日の協議会では具体案は出なさそうなので、12月の総務・産業建設常任委員会の後に協議会を開催し協議してはどうか。

鬼頭委員長：代表質問を12月定例会で行うには準備期間が少ないため、やるのであれば3月定例会で代表質問することとする。たたき台はどうか。皆様から意見をいただきたい。

梅村委員：あれば出す。

鬼頭委員長：代表質問に向けて進んでいくということでよろしいか。

（異議なし）

梅村委員：12月定例会の一般質問で個人的に視察内容を取り扱いたい委員がいるかもしれないので、11月にもう一度協議会を開催し代表質問のテーマを決めてはどうか。代表質問をやろうとして内容がはっきり決まらないまま3月定例会になると、一般質問で取り扱えなくなるおそれがある。

・協議の結果、次回の協議会を11月13日（木）午後1時30分から正・副議長応接室で開催することに決した。

（都市計画マスタープランのパブリックコメントについて）

榊谷委員：委員会か全員協議会で結果のまとめと報告を聞きたい。

鬼頭委員長：全員が聞きたいのではないかと思う。

榊谷委員：全員で聞くのであれば委員長から議長に依頼してもらえないか。

鬼頭委員長：議長に申し出て対応する。

（住民投票条例の行政視察について）

鬼頭委員長：梅村委員から提出された住民投票条例の行政視察について、1月に実施可能だがどうか。以前協議したとおり、滋賀県米原市に1月26日から30日までの間で打診してはどうか。

・協議の結果、滋賀県米原市へ1月29日で打診することとし、それが難しい場合は1月26日から1月29日でオンライン視察を打診することに決した。

8 その他

なし